

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-511635 (P2005-511635A)

【公表日】平成 17 年 4 月 28 日 (2005.4.28)

【年通号数】公開・登録公報 2005-017

【出願番号】特願 2003-545770 (P2003-545770)

【国際特許分類】

A 0 1 N 37/02 (2006.01)

A 0 1 N 25/02 (2006.01)

C 1 1 D 1/04 (2006.01)

C 1 1 D 1/722 (2006.01)

C 1 1 D 3/04 (2006.01)

C 1 1 D 3/20 (2006.01)

C 1 1 D 3/34 (2006.01)

C 1 1 D 10/02 (2006.01)

【F I】

A 0 1 N 37/02

A 0 1 N 25/02

C 1 1 D 1/04

C 1 1 D 1/722

C 1 1 D 3/04

C 1 1 D 3/20

C 1 1 D 3/34

C 1 1 D 10/02

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 9 月 30 日 (2005.9.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

a) 少なくとも 1 種の脂肪族短鎖の抗菌的に有効な $C_5 \sim C_{14}$ 脂肪酸又はそれらの混合物と；

b) 少なくとも 1 種の弱 $C_1 \sim C_4$ カルボン酸と；

c) 硝酸であるか又は硝酸とリン酸の混合物である強酸と；

を含む消毒及び／又は洗浄組成物。

【請求項 2】

前記少なくとも 1 種の弱カルボン酸が、酢酸、ヒドロキシ酢酸、プロピオン酸、ヒドロキシプロピオン酸、 α -ケトプロピオン酸、クエン酸、酪酸、吉草酸、コハク酸、酒石酸、リンゴ酸、フマル酸、アジピン酸、ギ酸又はそれらの混合物である請求項 1 記載の組成物。

【請求項 3】

前記少なくとも 1 種の脂肪族短鎖の抗菌的に有効な脂肪酸が $C_6 \sim C_{10}$ 脂肪酸である請求項 1 記載の組成物。

【請求項 4】

前記脂肪族短鎖脂肪酸が、デカン酸、ノナン酸又はそれらの混合物である請求項 1 記載の組成物。